

# 日本子ども家庭福祉学会通信

## 第53号

2026年3月発行

Japanese Society for the Study of Child and Family Welfare

No.53

### 日本子ども家庭福祉学会 第27回全国大会のお知らせ

大会テーマ：子どもの声を取り残さない社会へ—地域  
におけるすべての子どもの意見表明権と  
参加—

日時：2026年7月4日(土)・5日(日)

会場：日本社会事業大学清瀬キャンパス（東京都清  
瀬市竹丘3-1-30）

7/4(土) …講堂 7/5(日) …C棟

これまで、子どもの意思決定は養育者に委ねられる  
ことが多かったのですが、2016年の児童福祉法改正  
で子どもの意見尊重が明記され、さらに2022年の改  
正では地方自治体の役割も定められました。

2024年4月からは、障害児支援施設や事業所でも、  
子どもの意思尊重と最善の利益を優先した個別支援計  
画の作成や支援の提供が求められています。

中でも2022年に創設された意見表明等支援事業は、  
現在大きな焦点になっております。社会的養護にある  
子ども（一時保護や施設入所など）が、自分の意見や  
不満を表明できるよう、意見表明等支援員（子どもア  
ドボケイト）が支援する事業が法定化されたからです。  
これは都道府県の努力義務とされていますが、児童相  
談所が直接的に取り組むのではなく、民間ことにNPO  
法人に業務委託されることが目立っているところです。

そこで、今大会では、子どもの声を取り残さない社会  
へ—地域におけるすべての子どもの意見表明権と参加—  
をテーマとし、子どもの声をいかに捉えていくかを幅広く  
考えていきたいのです。アドボケイターだけが子どもの声

を捉えられるのではないはずです。児童養護施設で、保  
育園で、学校で、地域の居場所で、多様な場があってこ  
そ本質的な声が捉えられるのではないのでしょうか。今大  
会では、このことを考えるきっかけを作りたいと考えます。

#### 【スケジュール】

7月4日(土) …講堂

12:30～ 受付

13:00～ 総会

13:40～ 開会式

13:50～15:20 基調講演

「子どもの意見表明権のこれまでとこれから—こど  
も基本法に基づく子ども政策の転換をふまえて—」

早稲田大学名誉教授 喜多 明人 先生

15:30～ シンポジウム1

「地域で子ども・若者の声を聴く：清瀬市における居  
場所づくり」

のしお1丁目保育園 園長 山岸洋美氏

NPO法人 ウィズアイ 黒田一美氏

児童養護施設 子供の家 つぼみ 斉木紗季氏

なんか食う会 百瀬佳史氏

日本社会事業大学社会福祉学部学生ボランティア4名

(松岡隼太郎さん、狐塚わか奈さん、

熊崎涼介さん、渡辺都さん)

16:25～ シンポジウム2

「学校で子どもの権利を護る—意見表明権と参加」

定時制高校スクールソーシャルワーカー 松本浩一氏

ソーシャルワーカー・スクールソーシャルワーカー

小谷綾子氏

小学校教員 森下貴夫氏

要対協事務局 水口亜紀氏：児童虐待の現場から  
福祉事務所 福嶋優人氏：子どもの貧困の現場から

17:30～ シンポジウム3

「子どもの権利を守る支援者支援」

話題提供 日本社会事業大学名誉教授 藤岡孝志氏  
鼎談

- 司会 宇野耕司氏 日本社会事業大学 准教授  
登壇者① 藤岡孝志氏 日本社会事業大学名誉教授  
登壇者② 須江泰子氏 日本社会事業大学専門職大学  
院 准教授  
登壇者③ 森 孝行氏 葛飾区児童相談部児童相談課  
長（葛飾区児童相談所）

19:00～ 交流会

7月5日(日) …C棟

9:30～ 自由研究発表（分科会1）

12:15～ ランチセッション（民間団体活動推進調査  
研究事業報告会）

13:00～ 高校生・大学生による発表

14:30～ 自由研究発表（分科会2）

### 【大会申し込み】

#### 参加費

会員 事前申し込み 4,000円 当日参加 5,000円(不課  
税)

非会員 事前申し込み 5,000円 当日参加 6,000円(税込)

大学生 事前申し込み・当日参加 1,000円(税込)

※高校生は参加費無料。

※大学院生は会員・非会員区分の料金。

#### 申し込み方法

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw27/>) より、2026年4月1日(水)～6月9日(火)の期間に事前参加申込を行ってください。詳細はホームページでご確認ください。

#### 自由研究発表

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/>)

jscfw27/) より、2026年4月1日(水)～5月8日(金)の期間に発表申込を行ってください。発表者は会員に限ります。学会入会申し込みの期限は5月8日(金)(厳守)です。自由研究発表の詳細については大会専用ホームページでご確認ください。

#### 高校生・大学生による発表申込

大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw27/>) より、2026年4月1日(水)～5月8日(金)の期間に発表申込を行ってください。

- ・発表者は高校生・大学生に限ります。会員でなくても発表可能です。
- ・個人参加から部活動、委員会、ゼミ単位での団体参加も可能です。
- ・大会参加費は高校生無料、大学生1,000円です。大会参加申し込みをお願いします。
- ・募集要項は後日大会専用ホームページに掲載いたします。

日本子ども家庭福祉学会第27回全国大会運営事務局 高校生・大学生担当

E-mail: [kodomomopost@jcs.ac.jp](mailto:kodomomopost@jcs.ac.jp) [@は半角にして下さい]

※ご応募頂いたのち、企画当日に向けた準備等について、本企画事務局よりご連絡させていただきます。

## 2026年度民間団体活動推進調査 研究事業の公募結果

2025年9月～2026年1月末日の期間に、本事業の申請を受け付けました。第1種事業には3件の応募があり、審査の結果、助成先として、木内さくら会員（大阪公立大学）の「里親支援センターにおける子ども・里親・支援者が協働して作成する『ケアプラン』の試行的開発と実践的検討」（助成額300,000円）が決定されました。研究期間は、2025年4月1日から2026年3月末日の1年間で、2027年6月に開催予定の全国大会にて事業報告をしていただく予定です。なお、第2種事業については応募がありませんでした。

## 2025年度日本子ども家庭福祉学会 第3回理事会議事録

場所：オンライン会議

日時：2026年2月23日(月祝) 19:00~21:05

出席者(敬称略)：伊藤、山本(真)、野口、藤岡、有村、上鹿渡、川松、和田、佐藤、石田(記録)

欠席者(敬称略)：山本(恒)

### I 審議事項

#### 1. 2026年度第1回理事会について

佐藤理事より、資料に基づき説明があり、2026年度第1回理事会の開催方法等について承認された。以下、附帯事項。

- ・対面で開催する。第1回理事会は、新旧合同理事会とする(新理事・監事候補者は陪席の扱い)。

#### 2. 2025年度民間団体活動推進調査研究事業報告について

佐藤理事より、2025年度民間団体活動推進調査研究事業の報告は2日目にランチセッションとして行うと説明があり、承認された。以下、附帯事項。

- ・発表時間についても過年度にならぬ、15分程度で主要成果を発表してもらい、10分程度で質疑応答を行う。
- ・司会進行は特別企画担当理事を基本として、必要に応じて事務局長、次長が行う。
- ・事業成果を用いて自由研究報告を行うことは妨げない。ただし、その場合には事業成果の一部に焦点を当てて議論を行うなど、報告会で行う発表との差異化を意識して行う。

#### 3. 2026年度通常総会について

佐藤理事より、資料に基づき説明があり、全国大会に先立ち、日本社会事業大学にて2026年度通常総会を行うことが承認された。以下、附帯事項。

- ・昨年度と同様に、対面・ペーパーレスの総会を実施する。

#### 4. 2025年度事業報告及び2026年度事業計画(案)作成に向けて

佐藤理事より、資料に基づき説明があり、2025年度事業報告及び2026年度事業計画(案)について承認された。

#### 5. 国際文献社との基本契約の更新について

佐藤理事より、資料に基づき説明があり、国際文献社との基本契約の更新について承認された。

#### 6. 第27回全国大会について

有村理事より、資料に基づき説明があり、第27回全国大会の内容等について承認された。

#### 7. 第28回全国大会について

佐藤理事より、第28回全国大会について会長より大会校への打診をお願いしたい旨の説明があり、承認された。以下、附帯事項。

- ・2026年度通常総会で大会校と日程を発表できるよう、会長の打診後に事務局次長より大会校と調整する。

#### 8. 「2026年度民間団体活動推進調査研究事業」の審査について

佐藤理事より、資料に基づき理事・監事の審査結果の説明があった(第1種については、3件の応募、第2種については応募なし)。審査結果を踏まえ審議がなされ、附帯条件付きで1件採択することが承認された。以下、附帯事項。

- ・附帯条件を踏まえた修正書類の提出は1週間程度を期限とし、提出されなかった場合は採択取消とする。

#### 9. 理事・監事選挙の実施とその結果について

佐藤理事より、2月13日に選挙管理委員会により開票作業が行われたこと、発送数545件、総投票数は115票であり、前回選挙時の総投票数(131票)よりも減少したことが報告された。理事・監事選挙の結果については、2026年度第1回理事会及び総会時に報告し、あわせて次期役員体制についての承認を得ることが承認された。

10. その他

佐藤理事より、前回理事会後、1件臨時理事会としてオンライン会議による審議、3件についてメール審議を実施したことが報告された。

II 協議事項

次期へ引き継ぐ協議事項として、①年会費、大会参加費の値上げの可否、②会長声明の発出のあり方の2点が挙げられた。

III 報告事項

1. 編集委員会報告

野口理事より、①機関誌第26号について13本の投稿があり、現在査読作業を行っていること、②10号から創刊号までの研究倫理等確認、執筆者への通知、バックナンバーのアーカイブ化が完了したことが報告された。

2. 広報関係報告

佐藤理事より、①学会通信は52号を10月31日付で配信し、53号を年度内に配信予定であること、②学会メールニュースは、前回理事会以降、学会の事業に関するものについて配信したほか、会員からの求めに応じて16件の情報提供を行ったことが報告された。

3. 会計関係報告

佐藤理事より、資料に基づき報告があった。

以上。

入退会者

2025年10月1日～2026年2月28日までの新入会員

寫田 弘子	学校法人桜花学園 名古屋短期大学
鈴木 裕子	愛知教育大学
唄中 庸子	社会福祉法人 甲賀学園 鹿深の家
鶴 宏史	武庫川女子大学
春木 裕美	関西国際大学
福井 千夏	愛知学泉短期大学
松山 順子	社会福祉法人 恵泉福祉会

2025年10月1日～2026年2月28日までの退会者

なし

・2023年度からの長期未納者（2025年度末で自動退会となる者）は11名です（昨年度末の自動退会者は8名）。

・なお、2026年2月28日現在の会員数は564名です。

〈編集後記〉

・第27全国大会の開催に向け、大会校の皆様にご尽力をいただいております。会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、申し込みや自由研究発表など、詳細なお知らせは大会専用ホームページ (<https://www.k-gakkai.jp/jscfw27/>) をご確認ください。

・2025年度年会費ご納入のお手続きはお済みでしょうか。まだお振込みいただいていない方は早めにお手続きくださいますようお願いいたします。会費の納入状況は「マイページ」 (<https://iap-jp.org/jscfw/mypage/User>) でご確認ください。パスワードのお問い合わせは、学会事務局にメールにてお願いいたします。

・会費の納入と併せまして、メーリングリストへのご登録をお願いいたします。メールニュースも発信しておりますので、ご確認ください。登録しているのに情報が届かないなど、何かお気づきのことがありましたら、学会事務局までお問い合わせください。

・学会通信について何かご要望等がございましたら、ご遠慮なく学会事務局までご連絡ください。

日本子ども家庭福祉学会通信 第53号

発行日 2026年3月31日

発行人 伊藤 嘉余子

編集人 石田 慎二

発行 日本子ども家庭福祉学会事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター (株) 国際文献社

Tel: 03-6824-9371 Fax: 03-5227-8631

e-mail [jscfw-post@as.bunken.co.jp](mailto:jscfw-post@as.bunken.co.jp)